
英艇獨戰艦を撃沈す

之の一にして今更ら珍らしき事によりは京城神社の谷村祿^{ろく}出張式
非らざるも此^{この}次の運動は之を従前^{ぜんぜん}祭を挙^あげたり工事^{こうじ}は十二月中に竣工^{くわんこう}

前理事林井上、村田の三氏は相
つ七日より官民の各方面を歴訪
を要し候へ共南嶺山の白雪齋の如
く狐色の野山には「さんざしぐれ」

大坂にては九州大演習陸軍の
山軍司令官及び竹内中佐乗車
の
や……」と仰せられ候。
○午後七時釜山埠頭の大棧橋着、
今夜は高麗丸にて釜山を渡るべし

や……」と仰せられ候。
○午後七時釜山埠頭の大橋橋考、
今夜は船燈丸にて玄海を渡るべく

▲京都商業学校職員生徒六十二名、七日
▲三本武重氏鐵道局局長(兼課長) 上京中
日午前入港、船艙新張丸にて着きせり
(特電)

▲京都商業學校職員生徒六十二名 七日(金)▲三木重氏(鐵道局長兼副社長) 上京中の所、日午商入港差船新保丸にて着釜より(釜山特電)

三將軍 戦を闘る可く南へ

列車中にて大演習の追憶
廿四年には審判官
立花将軍曰く
古海将軍曰く
先帝御統の最終演習

全朝鮮の将星は

悉く一列車に
集まつた、秋山将軍は一等室の中央
九将軍を占めて、開闢
には天策を、一等室を占めて、開闢
には天策を、一等室を占めて、開闢

大演習前の福岡市

装飾や準備で手古舞
行幸を目撃した福岡市は刻々に
大演習の色彩を濃厚にして行く所前
福岡市の大演習は博多を演出し

千八百圓の小切手

大邸銀支店より詐欺せんす
八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

玉座に向つて銃剣の兵士

牛肉と砂糖と靴と最近の露都
百萬の軍隊の胃腸に納めらるべく
口にするものであつて露都一般國民

大演習の追憶

廿四年には審判官
立花将軍曰く
古海将軍曰く
先帝御統の最終演習

◆大本營は久留米
◆中野の警備
◆池田の警備
◆池田の警備
◆池田の警備

大演習前の福岡市

装飾や準備で手古舞
行幸を目撃した福岡市は刻々に
大演習の色彩を濃厚にして行く所前

千八百圓の小切手

大邸銀支店より詐欺せんす
八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

玉座に向つて銃剣の兵士

牛肉と砂糖と靴と最近の露都
百萬の軍隊の胃腸に納めらるべく
口にするものであつて露都一般國民

大演習の追憶

廿四年には審判官
立花将軍曰く
古海将軍曰く
先帝御統の最終演習

大演習の追憶

廿四年には審判官
立花将軍曰く
古海将軍曰く
先帝御統の最終演習

◆大邸銀支店より詐欺せんす
八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

◆大邸銀支店より詐欺せんす
八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

◆大邸銀支店より詐欺せんす
八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

大邸銀支店より詐欺せんす

八行支店小切手金額一千八百圓
同支店より詐欺せんす

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

A black and white illustration of a man in traditional Japanese clothing, seen from the back, holding a small object (possibly a fan or a book) and looking towards a large, draped object (possibly a screen or a large book) on the left. The man is wearing a white kimono with a circular pattern on the back and a dark obi. The large object on the left is covered with a patterned cloth. The scene is set indoors, with a wooden structure visible in the background.

け貴殿をお助け申したことがありましたが、イヤ彼の方は勇しい戰でござつた。政某の朝は御身の助けを蒙つて政宗も危を免れたことがござつたが、思ひ出せば互ひに、恐しいことでござつた。何は冤もあれ今宵は酒酌交して夜と共に昔語をいたさん」とそれより酒宴に相成りまして兩人は城内に暫し滞在したて居りました。此の政宗といふ方は伊達家中興の祖で太閤殿も此の器量には驚いたといふ位、伊達家六十二萬石を起したは此のお方の力である幼名秋元丸と云つて後に藤五郎と云ふ、此のお方の功績を因みによつて鳥渡申し上げて置きます。寛永三年九月六日後水屋天皇二條城内へ御幸あらせられることに相成り、二百六十餘大名悉く上洛いたし、洛中洛外は仙臺の御家系には頗る人物が

揃ひやかかに立派でありましたから三條の大櫓へ落着いた人がある。今日晴れと旦那伊達して政宗が法固めをば光らかりけり。是は政宗侯は異名に奥州の覇臣罷て云はれた程で眠はッだが眠みの利坊が喜ぶ。

木村屋パンに
添へてやりましよキヤラメルを
(電報七期)

くことは大變で、京靈の口善惡なくも惡口を申した事が政宗侯の耳に入つた、處が大勇猛の政宗左様なことはとんと氣に止めぬ、大口開いて打突ひ取らず返歌をなすつたてすまれば我名似合のかたをば光らかす身のかゝる迷惑

酒著たお方もあればあるもので、最も此の政宗と云ふ方は文武二道に達し智勇兼備の名將でありました、されば仙臺の御家系には頗る人物が

を、公卿は何方に、ハイ仙童にござる」と非常に鼻にがう。公「今度何しに都に出なすつた。其、ハイ親園の祭禮を拜見に参りました。公「あゝ、万が一、お前は竹を知つて居るか。公「傍にありましては竹の枝を甚五兵衛の前のへ突きつけた、甚五兵衛カラカラの打笑ひ何も云はず矢立の筆を執てサラ〜と紙紙に何か書いて、彼の獲へ公卿の前に出した、それを見るに梅をだに知らで探ねし都人竹を知らねもござわりにこそと認めてある。公卿が大きくて赤面をいたしました。

南山町三丁目巴城通電話二九二〇〇

齒科診療 橋本 醫院

齒科醫學士 橋本 清次郎

[illegible][illegible][illegible]

眞に能く効く

神
症
湯

即ち試みて現に

◎ 烈しき神經痛で惱まし人

◎ 頗る難治のリウマチスの人

◎ 數年固疾の疝氣で苦しむ人

◎ 百法効なき子宮病の婦人

◎ 常に悲しむ血の道の婦人

◎ 多年惱めるヒステリーの人

◎ 不治の慢性胃腸病で苦しむ人

など此良藥神經痛の連服で漸次快方に赴き遂には**スツカリ**快癒し

癒さの餘り驚異な**裸體**一般の保存

(保證)を寄るるに實例も夥からず若不幸にも是等の病に悩む人あらば輕症と重症の論なく即ち試み**スツカリ**は家方の良藥にして今全國各藥店と有り

劑良改質躰

● こんな徴候の人

胸^{なな}腹^{はら}、手^て、足^{あし}、肩^{かた}、脊^せ、腰^{こし}、膝^{ひざ}、
髋^{こむち}等^らつと、腫^{はれ}じけたりは筋脈痛^{しんみくう}、
● 彼處^{そこ}此處^{ここ}と移動^{うつろ}し何^{なん}となく息^{いき}く
● 腹^{はら}膨^{はふ}差^さ込^こみ、腹^{はら}なく胸^{むね}つかる、溜^{ため}飲^の
● 食^け進^{すす}まず又は進^{すす}過^かぎ、便^{べん}秘^ひ或^{ある}は下^{くだ}
痢^り、寒^さ氣^き、逆^{さか}上^{さう}、血^{けつ}眼^{がん}、目^め曇^{くも}り、耳^{みみ}鳴^{なり}
● 頭痛^{づうとう}、齒^は痛^{いた}、頭^{あたま}重^{おも}く、肩^{かた}凝^こ、腰^{こし}に力^{ちから}
なく、腰^{こし}足^{あし}冷^{ひや}へ、夜^よ眠^ねられず、根^ね氣^き
薄^{うす}らぎ記憶^{きおく}あしく、氣^き衰^{おとろ}へ、潮^{うしほ}高^{たか}より
● 物^{もの}事^{こと}に感^{かん}じ易^{やす}く、頭^{あたま}手^て足^{あし}の字^じ履^ふ等^ら
● 疝^{たん}氣^き、リウマチス、神^{しん}經^{けい}痛^う、胃^い腸^{ちやう}及^{およ}
子^こ宮^{くわう}病^{びやう}、血^{けつ}の道^{みち}より起^{おこ}る諸^{しよ}患^{わづらひ}に罹^{かか}ひ
人^{ひと}は片^{ひと}時^{とき}も早^{はや}く神^{しん}痛^うを試^{ため}みよ


價^ね額^{がく} 一^{いっ}層^{そう}五^ご錢^{せん} 二^に層^{そう}六^{ろく}錢^{せん} 三^{さん}層^{そう}一^{いつ}圓^{えん}十^{じゅう}錢^{せん}
● 十^{じゅう}層^{そう}五^ご圓^{えん} 一^{いっ}圓^{えん}十^{じゅう}錢^{せん} 二^に圓^{えん}十^{じゅう}錢^{せん} 三^{さん}圓^{えん}十^{じゅう}錢^{せん}
● 十^{じゅう}層^{そう}五^ご圓^{えん} 一^{いっ}圓^{えん}十^{じゅう}錢^{せん} 二^に圓^{えん}十^{じゅう}錢^{せん} 三^{さん}圓^{えん}十^{じゅう}錢^{せん}

本^{ほん}舖^ぷ 荒^あ川^{かわ}長^{ちやう}太^た郎^{らう}
名^な古^こ屋^や市^し東^{とう}區^く京^{きやう}都^と二^に丁^{てい}目^め

電話^{でんわ} 千^{せん}里^り十^{じゅう}五^ご番^{ばん} 電^{でん}報^{ぱう} 千^{せん}里^り十^{じゅう}五^ご番^{ばん} 電^{でん}報^{ぱう} 千^{せん}里^り十^{じゅう}五^ご番^{ばん}

京永樂町二丁目商晶陳列館裏門通
入院隨意
酒井婦人病院
電話二六〇〇番

呼吸器散



延壽大なり。別に延壽とせる呼吸丸あり
 急性慢性のたんせき症にタンを祛り
 せきを鎮め胸を和らけ安眠の効を奏す
 價十錢 十五錢 三十錢 本館大坂東京丹平商會

京城旭町一丁目
内科小兒科 小林 醫院

鑿化製諸器械一式

藥種膏藥卸商

內科
小兒科
見
多
京
城
日
出
小
學
校
前
入
院
隨
意
電
話
九
四
〇
番

<p>各藥店に販賣す</p> <p>氣管炎新劑 グアコール フエロール</p>	<p>皮膚病新劑 フルゼン フエロール</p>	<p>梅毒新劑 沃度之ロル</p>	<p>最新欽劑 フエロール 應體育保全 用補血營養 フエロール</p>	<p>時代の要求により創製の新營養劑</p> <p>寶藥に非ず破折 發見の最高營養 劑なり</p> <p>定小 壹圓七拾錢 十 壹圓也</p> <p>價試 貳圓也 貳拾錢</p> <p>沃 貳圓也 貳拾錢</p> <p>グアルセル 各瓶 大二十日分 中十日分</p> <p>空匣壹圓 發賣元大瓶貳圓 小西久兵衛 藥房大阪九一番</p> <p>貴州・千地方ハ 本師・注文アリ</p>
---	---------------------------------	-----------------------	---	--

資本金 五百萬圓
頭取 安田善三郎

京城市本町壹丁目

株式會社 百三十銀行 支店

總行 東京市丸の内區千代田一丁目
電話 五八四番、二九四番

爲換取銀先下內地各方面並朝鮮樞要の地に有之條
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候

